

質問項目 No. 3	分野別計画編の取組について	備考
要 旨	<p>(1) 災害対策について ア 避難所における生活環境の整備について問う。 イ 災害備蓄品の充実について問う。 ウ 防災DXによる避難所支援について問う。</p> <p>(2) 小牧市環境都市宣言に基づいた取組について ア 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組について問う。 イ 資源循環を推進するための取組について問う。 ウ 自然環境の保全に向けた取組について問う。</p> <p>(3) 地域公共交通について ア 本市の公共交通の現状について問う。 イ こまき巡回バス「こまくる」の再編について問う。</p> <p>(4) 第20回アジア競技大会について ア これまでの取組について問う。 イ 今後の取組について問う。</p>	

質問項目 No. 4	自治体経営編の取組について	備考
要 旨	<p>(1) 市役所DXについて 本市におけるDXの取組について問う。</p> <p>(2) 水道事業の経営について 今後の水道事業経営の考え方について問う。</p>	

質問項目 No. 1	施政方針について	備考
要 旨	<p>(1) 天野新市長による最初の予算編成について 今回の予算編成は天野新市長が手がける最初の予算編成になる。予算編成にあたり重きを置いた施策は何か問う。</p> <p>(2) 小牧市の財政状況について 市長として就任され一ヶ月も経たないところで、様々な状況を認識されたと思うが市長の所見を問う。</p>	

質問項目 No. 2	市長マニフェストについて	備考
要 旨	<p>(1) 市長の公約について 市長選挙にて未来の小牧にワクワクと題して様々なマニフェストを掲げられていた。無投票となり選挙公報等に記載される事がなかったため、知らない市民の方がほとんどである。具体的に掲げられている内容について問う。</p>	

質問項目 No. 1	中日ドラゴンズの2軍本拠地移転に伴う誘致について	備考
要 旨	<p>(1) 誘致について ア どのような認識なのか問う。 イ 候補地はどこを考えているのか問う。</p> <p>(2) 誘致における優位性について 本市の優位性をどのように捉えているのか問う。</p> <p>(3) 誘致における波及効果について 波及効果についてどのように捉えているのか問う。</p>	

質問項目 No. 1	ウォーカブルなまちづくりについて	備考
要 旨	<p>(1) 現状について ウォーカブルなまちづくりとは、「歩くことが楽しい」「歩きやすい」を意味する「ウォーカブル」の概念に基づき、車中心から歩行者中心へと転換し、人々が快適に過ごせる「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を創出する取組です。 国土交通省が推進しており、多くの自治体で取組が加速しています。 市の現状を伺います。</p> <p>(2) 健康促進について 「歩くこと」は、生活習慣病の予防や高齢者のフレイル予防に繋がります。結果として医療費の抑制にも繋がります。 市の見解を伺います。</p> <p>(3) ベンチの設置について ベンチを置くまちづくりは、単なる休憩スペースの設置にとどまらず、『歩道の「居場所」化』『交流の促進』『高齢者の外出支援』『滞在時間延長による地域経済の活性化（ウォーカブルなまちづくり）』を目指す包括的な取組です。ベンチの設置により、住民や来街者が安心して過ごせる空間が醸成され、歩行距離が延び、「健康度」や「幸福度」の向上が期待されています。 市のシンボルロードや主要な箇所に、もっとベンチの設置をお願いしたいが所見を伺います。</p>	

質問項目 No. 1	過去最低となった選挙投票率を受けて考える今後の選挙運営のあり方について	備考
要 旨	<p>2026年2月の市議会議員補欠選挙において、投票率が過去最低となった事実は、市全体で向き合うべき大切な課題であると考えている。</p> <p>前市長の辞職から告示まで20日間という限られた時間の中で、市民からは、「いつの間にか選挙が始まっていて、選ぶ時間が足りなかった」という戸惑いの声や、「もっと候補者の考えを知りたかった」という切実な願いが届いている。</p> <p>市民の「知る権利」を大切に、誰もが参加しやすい選挙環境を整えることが必要であると考えている。</p> <p>(1) 2026年2月執行の市長選挙及び市議会議員補欠選挙の結果について</p> <p>ア 過去最低の投票率16.98%を記録した要因を、どのように受け止めているか伺う。</p> <p>イ 市長選挙が無投票となったことが、有権者の関心や投票行動に与えた影響について見解を伺う。</p> <p>(2) 市民の参政権を保障する選挙日程の設定について</p> <p>ア 前市長辞職から告示まで20日間という日程において、有権者への周知期間が十分であったと考えるか伺う。</p> <p>イ 今後の選挙運営において、事務的な効率性だけでなく、市民が政策を吟味し納得して一票を投じられるような日程確保の考えについて伺う。</p> <p>(3) 投票率向上に向けた具体的な取組について</p> <p>過去の一般質問などを通して投票率向上に向けて情報発信や環境整備の面でどのように取り組まれたのか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	新木津用水路改修工事に関連する事業について	備考
<p>要 旨</p>	<p>新木津用水路は、犬山市木曾川で取水された木津用水が、合瀬川及び五条川と交差した大口町中小口付近を取水源に、本市では久保一色から薬師川等と合流しつつ下末までを縦断し、大山川をくぐり、春日井市朝宮まで続き八田川へ流れていく農業用水路である。</p> <p>改修工事は、農林水産省東海農政局新濃尾農地防災事業所により、平成26年の計画変更より凡そ10年の期間、毎年農閑期に集中的に行われ、建設資材・人件費の高騰、現地調査で必要となった追加工事等の影響の中、早期の完了が目指されており、久保一色・久保・岩崎・小松寺・東田中等、味岡地区の工事も佳境となっている。</p> <p>(1) 新木津用水路をくぐる用水路の伏せ越し工事について ア 改修工事での取り扱いについて問う。 イ 用水路を利用していた農地の影響について問う。</p> <p>(2) 用水路上の橋梁工事について 今後架け替えが必要な橋梁工事について問う。</p> <p>(3) 後川合流点について 計画中の調節池工事の概要について問う。</p> <p>(4) 県指定天然記念物「岩崎清流亭の藤」について ア 藤の現在の状況について問う。 イ 今後の計画について問う。</p>	

質問項目 No. 1	市長と旧統一教会の関係について	備考
<p>要 旨</p>	<p>令和8年2月22日執行の小牧市長選挙は、立候補者が1名であったため、残念ながら無投票で市長が決まりました。</p> <p>市民からは「旧統一教会の市長は嫌だけど選挙がないのでしょ」「市議会議員から誰か出る人いなかったの」「市長が旧統一教会と関係があるなんて小牧市民として恥ずかしい」「小牧に税金を払いたくないから引越したい」等の厳しい意見を聞いております。</p> <p>現状では、市長の説明と市民の理解との溝が深いため、新たな天野市政の船出にはこの溝を埋める必要があります。さらに市のリーダーである市長と旧統一教会の関係を払拭しないと市のイメージダウンになると考えるため、今回の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 説明責任について これまで旧統一教会との関係について、どのように説明責任を果たされたのかを伺います。</p> <p>(2) 旧統一教会との関係について ア いつからの関係なのかを伺います。 イ どのような関係なのかを伺います。 ウ 関係をもたれた理由を伺います。</p> <p>(3) 今後の対応について 信頼回復への取組を伺います。</p>	